

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 2 区分

【発行日】平成20年4月3日(2008.4.3)

【公開番号】特開2006-171393(P2006-171393A)

【公開日】平成18年6月29日(2006.6.29)

【年通号数】公開・登録公報2006-025

【出願番号】特願2004-364174(P2004-364174)

【国際特許分類】

G 0 2 B 7/28 (2006.01)

G 0 2 B 7/34 (2006.01)

G 0 3 B 13/36 (2006.01)

【F I】

G 0 2 B 7/11 N

G 0 2 B 7/11 C

G 0 3 B 3/00 A

【手続補正書】

【提出日】平成20年2月15日(2008.2.15)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

撮影画面内に少なくとも 3 つ以上設定された焦点検出領域のそれぞれに対応して設けられ、被写体像の光強度に応じて蓄積される電荷量に応じた信号列を出力する複数の光電変換素子列と、

被写界からの光束のうち、前記各焦点検出領域にそれぞれ対応する範囲の光束による被写体像を前記各光電変換素子列上にそれぞれ結像する光学系と、

前記各光電変換素子列における蓄積をそれぞれ制御する蓄積制御手段と、

前記各光電変換素子列よりそれぞれ出力される信号列に基づいて、撮影レンズの焦点調節状態を検出する焦点検出手段とを備え、

前記蓄積制御手段は、前記焦点検出領域のうち互いに隣り合わない複数の焦点検出領域にそれぞれ対応する複数の光電変換素子列に対する蓄積を共通に制御することを特徴とする焦点検出装置。

【請求項 2】

請求項 1 に記載の焦点検出装置において、

前記蓄積制御手段は、前記光電変換素子列に対する蓄積時間を制御することを特徴とする焦点検出装置。

【請求項 3】

請求項 1 または 2 に記載の焦点検出装置において、

前記蓄積制御手段は、前記光電変換素子列の前記電荷量が飽和する場合に、前記蓄積の時間を短くして再度蓄積制御することを特徴とする焦点検出装置。

【請求項 4】

請求項 1 ～ 3 のいずれか一項に記載の焦点検出装置を備えたことを特徴とするカメラ。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】発明の名称

【補正方法】変更

【補正の内容】

【発明の名称】焦点検出装置、カメラ

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

本発明による焦点検出装置は、撮影画面内に少なくとも3つ以上設定された焦点検出領域のそれぞれに対応して設けられ、被写体像の光強度に応じて蓄積される電荷量に応じた信号列を出力する複数の光電変換素子列と、被写界からの光束のうち、各焦点検出領域にそれぞれ対応する範囲の光束による被写体像を各光電変換素子列上にそれぞれ結像する光学系と、各光電変換素子列における蓄積をそれぞれ制御する蓄積制御手段と、各光電変換素子列よりそれぞれ出力される信号列に基づいて、撮影レンズの焦点調節状態を検出する焦点検出手段とを備え、蓄積制御手段は、焦点検出領域のうち互いに隣り合わない複数の焦点検出領域にそれぞれ対応する複数の光電変換素子列に対する蓄積を共通に制御するものである。